

藤沢

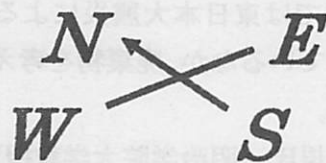
エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議

(略称) 藤沢エコネット

2012年6月1日

第217号



- 主 事
- ・ガレキ処理・除染を撃つ
 - ・国民投票で決めよう
 - ・放射能測定(学校給食等)
 - ・花のさんぽみち

http://members3.jcom.home.ne.jp/fujisawa_econet/

事務局 〒252-0816 藤沢市遠藤 849-9 青柳

☎/FAX 0466-87-4922

e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp

愛する安達太良山の、戸場口から

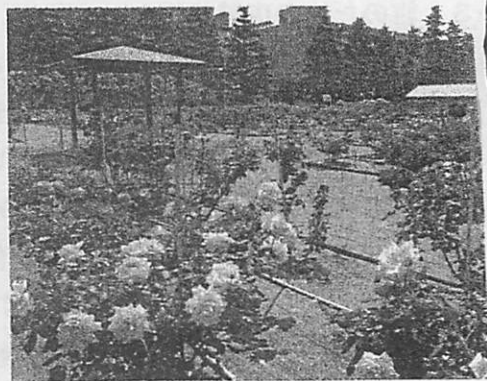
福島県は中通り、二本松市の安達太良山から湧き出る清流の溪谷沿いに一軒の温泉宿がある。当団体、主に冬場の定宿としてお世話になって既に十年近い。あの震災の翌日もいつも通りにお世話になる予定だった。しかし連絡すら出来ない状態が続き、自宅待機となる自分たち。届いたと思われるのは一枚のファックスだけ。

そして数日後「無事、建物も損傷少なし。宿の営業はしていないが、避難所として活躍中。ファックスありがとう」と連絡があり、別の石巻出身の知人からの連絡含め、被害の大きさを噛み締めながらも、一先ずの安堵を得た。

その後、観光シーズンに入っても観光客は少なく宿泊しているのは自分たちだけという日も多かった。街を走れば瓦屋根をブルーシートで応急処置、避難所の案内など、復興の前線を常に感じさせるが、観光客が戻ってきたと感じたのはスキーの季節になってからか。東北道に南関東のナンバーが少ないながらも混じっての渋滞で、いつもの冬と感じた。月に一回程度通っているその宿に、春が訪れ、玄関の雪山もなくなり、麓では染井吉野の開花宣言が出た頃、女将さんから「宿の修繕のため、一年間休業します」と言われた。今年の秋には宿からの登山道で安達太良山に初めて登ってみようと考えていたが、来春、霞ヶ城や三春の桜が見頃になる頃、またお世話になる約束をして藤沢に戻った。

愛する福島、縁のある宮城、仮に自分にそれらがなかったとしても、この震災と原発事故に無関心はあり得なかったろう。実際に身近な所で福島に通う自分を避ける人間はいなかったし、東北や北関東の食べ物を粗末にする者も見かけなかった。けれどマスメディアでは大騒ぎ。あるのが当たり前のようにしていた原発に対してすら、反対の声大きい。だが大きな声の人は電気を大切に使い、原発反対派に投票していたのだろうか。目を向けるべきところに皆で注力するのは、本来悪くないはず。ただし、それが解決する日まで続くのなら。必要なことに関心を持ち続けさせるのも、関連している自分たちの責任であるが、大衆の怖さも知りつつある中、既に節電の意味が一昨年までの【火力を使わず、温暖化防止】は忘れ去られ、【原発使わず、火力を使って乗り切ろう】なんて大合唱を聞くと無力さを痛感してしまう。しかし世の中が熱しやすく冷めやすくとも、科学的な裏付けよりも雰囲気になんとなく流されようとも、事が起きる前までに情熱を持って、事実を曲げずに、誠実にやっていくしかない。愛と優しさ溢れる世の中になる日まで。

【環境経済NPOパシフィックエコサービス代表 青木正美】



日大藤沢バラ園(六会)のバラ

ガレキ処理・除染を撃つ

全国の自治体では東日本大震災によるガレキの受入に対し議論しているなか、廃棄物を考える講演を聴くことができた。

講師は熊本一規氏（明治学院大学教授）。

1. ガレキの広域処理は問題だらけ

災害廃棄物はコンクリートくずや木くずの産業廃棄物である。しかし一般廃棄物（一廃）として扱われているが、一廃とする根拠はない。2011.5月に特例で国が費用負担する法律ができた。

産廃を一廃として処理するための特例は一廃の再委託を認め、「市町村→県」は地方自治法上の委託で代行でき、産廃処理施設（安定型を含む）で一廃の処理ができるようになった。災害復興予算はゼネコン（鹿島建設・大林組など大手）・廃棄物処理業者に流れる仕組みである。

市町村→県→産廃処理業者（地元処理）

市町村→県→受入市町村→ゼネコン・産廃処理業者（広域処理）

2. 放射性廃棄物の処理方法

100Bq/kg 以上は放射性廃棄物として六ヶ所低レベル放射性廃棄物埋設センター等へ運ばれる。（震災前は放射性セシウム濃度が1kg当たり100ベクレル（IAEA国際基準）を越える場合は特別管理下に置かれていた。（国は震災後は福島県内限定で8000ベクレルを基準とした）。ガレキ処理の基準値はIAEAの安全指針に反し、数百倍の基準緩和がされ、単位重量当たりから汚染濃度を導くことにより基準とされるが、EUでは表面の汚染密度にも基準が定められている。

3. 誰のための広域処理か

放射性廃棄物の広域に拡散することは「希釈禁止」の国際合意の大原則に反する。被災当初は「広域処理」は「地元連携型広域処理」とされていた。

仙石内閣官房副長官発言で「全国的広域処理」の契機になった。「財政的にも現実の処理能力の面でも（市町村では）処理できない。県が代行する制度に切り替えたが、県は廃棄物処理の実際の行為を従来はほとんどやっていない」「国が直轄事業でやることまで踏み込まないと処理は進まないのではないか。特例措置を作ることを議論している」と述べた。その後災害廃棄

（震災エコネットニュース217号）

物処理特措法（2011.8.18）で「国の代行」を規定した。「国の代行」は現在、相馬市・新地町だけで、検討中は南相馬市・広野町だけである。「全国的広域処理」は「県の代行」により実施されている。（東京都・島田市）

「県の代行」による地元処理は共同企業体（JV）に委託され大手ゼネコン（鹿島建設 奥村組 大成建設 清水建設等）に丸投げされるが、廃棄物処理はやったことがないため更に下請・孫請け処理で「ピンハネ」の利益を得る仕組み。「全国的広域処理」はガレキ処理をめぐる利権争奪戦の結果の利権配分である。

4. 仙台市のガレキ処理

仙台市のガレキ処理は順調に進み2013年までに終了の予定で、その要因は ①撤去現場での分別収集 ②条件に恵まれていたこと、行政機能の被害が少なく広大な仙台平野があった ③仮設焼却炉3基を搬入所それぞれに設置、産廃処理の既存ルートを活用

特に仙台市は産廃処理業および産廃処理施設許可の権限を持っているため震災ガレキの多くを占める産廃処理の既存ルートを活用することができた。委託もしているがすべて地元の処理業者に委託していて、JVへの委託は全く行っていない。

5. 地元主体・被災者救済の復興を

①震災ガレキは「100ベクレル/kg 以上は放射性廃棄物」として六ヶ所埋設センターのほか、福島第1原発周辺に集中させるべきである。

②除染を請け負うのも鹿島建設 大林組 大成建設などのJVである。

③国の方針は20mSv/年以下は帰還推進であり、1mSv/年になるまで除染である。

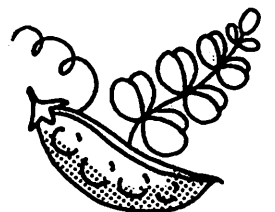
④巨額の除染利権

⑤チェルノブイリでは5mSv/年以上は強制的避難で、1～5mSvの地域は住民が「避難の権利」を持つ

⑥労働安全衛生法の放射線管理区域は「3ヶ月につき1.3mSvであり「20mSv以下の地域に帰還推進」は犯罪である。

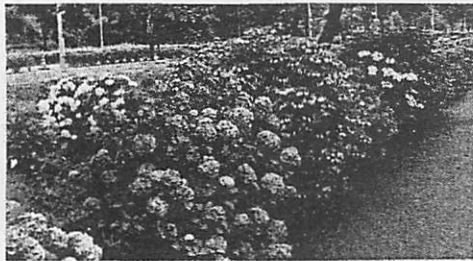
⑦ガレキ利権と除染利権と帰還推進はセットになっている。

（日比遥）



花のさんぽみち

藤沢には、花と自然にふれあう散歩コースがたくさんあります。今シーズンとなった「あじさい」が皆さまを迎えます。お出かけになってはいかがでしょうか。(藤沢市発行 藤沢花マップより)



500株以上のアジサイが楽しめます

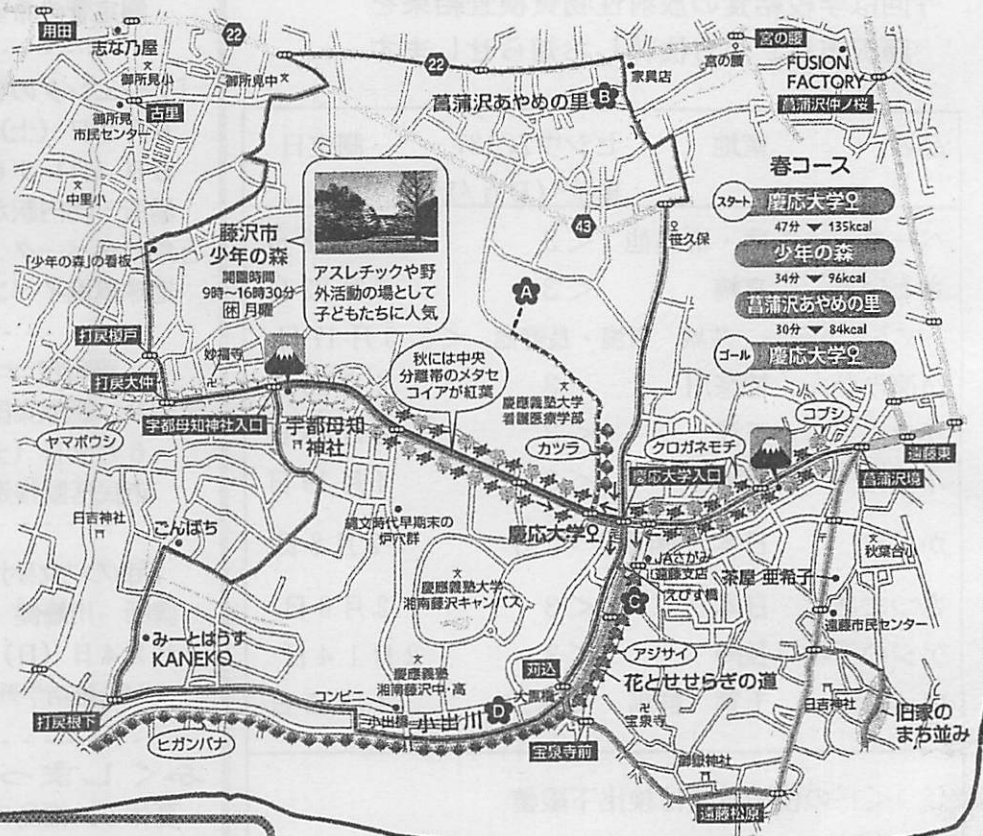
花とせせらぎの道

小出川のえびす橋から大黒橋までの約500mがこう呼ばれています。小出川の環境美化を目的として、地域の方の手によりアジサイが植えられました。

しょうぶさわ

菖蒲沢あやめの里

田園とあやめが調和した里山風景を目指し、地域の方々により、一色川支流や菖蒲沢の休耕田にあやめ(見頃:4月下旬~5月中旬)や花菖蒲(見頃:5月下旬~6月下旬)が植えられています。



原発をどうするか「国民投票」で決めよう!

原子力発電所の稼働を認めるのか認めないのか。

この極めて重大な問題は、これまでのように政府や国会や専門家が決めるのではなく、主権者である私たち一人ひとりの国民が みんなで議論し考えて、国民投票で決める問題ではないでしょうか?

市民グループ「みんなで決めよう国民投票」は、昨年の福島原発事故をきっかけに 結成されました。イタリアやスウェーデンでは、原発のような重大な問題は 国民投票を行い、国民の間で議論を重ね、民意を表しています。それは議会の存在を軽視するものではなく 間接民主制をよりよく補完するものとなると考えます。

先進国で、国民投票を実施したことが無い国は、日本くらいです。

日本は重大な原発事故の当事国です。「原発問題に限った国民投票」を日本で実施することは 不可能なことではありません。

私たち市民グループでは全国で111万人の署名を目標にし、国会・各政党・

国会議員に働きかけようとしています。全国で5000人の賛同人がおり、神奈川県だけで540名います。チラシを設置していただいている「応援ショップ」は県下で70店舗を超え日々増えています。

賛同いただけましたら、署名していただき、ご面倒ですが 手渡ししか郵送で以下までご送付いただけますようお願い申し上げます。(宮本珠江)

〒251-0052 藤沢市藤沢 1031-2F 藤沢市市民活動推進センター内 藤沢エコネット

無料勉強会

6月9日 14:00~16:00 南図書館会議室

6月9日 16:30~シール投票&署名活動

街頭署名 (サンパール広場)

6月15日, 21日 19:00~20:00

<http://kanagawa.kokumintohyo.com/>

放射能測定値

今回は学校給食の放射性物質検査結果を
藤沢市HPから抜粋しお知らせします

品名	産地	セシウム 137 単位 (Bq/kg)	測定日
ベーコン	千葉・群馬他	<3	5月28日
さといも	宮崎	<3	5月22日
トマトピューレ	茨城 新潟・長野他	<3	5月17日
冷凍みかん	神奈川	3	4月26日
キャベツ	三浦	<3	4月24日
小松菜	藤沢	<3	4月19日
かじき	日本、韓国他	<3	2月8日
さつまあげ	日本	<3	2月9日
アジの干物	長崎	<3	2月14日
ウィンナー	千葉 群馬	<3	2月15日

「<」の横の数値は検出下限値

検出下限値：3 Bq/kg

◆明治小学校の給食 5/14～5/18 (5日分) をすべて
検査の結果 2.90kg のうち

セシウム 137 は 検出せず [< 0.34 Bq/kg]

参考 5/2 の献立と材料

- ▲献立 ・胚芽食パン ・いちごジャム ・牛乳
・あげじゃがいもとハムのソテー ・ひじきスープ
- ▲材料 牛乳パン ジャム じゃがいも あぶら
ハム とうふ たまご ひじき パセリ にんじん
たまねぎ こまつな 牛乳

◆藤沢保育園幼児食も4月～5月全検査の結果
いずれも “ 検出せず ” でした

[< 0.032～0.038 Bq/kg]

※検査機関：株式会社 エヌ・イー サポート



ECONET INFORMATION

大気一斉測定測定

6月7日(木)～8日(金)の24時間
測定者の希望者はエコネット事務局まで

「アジェンダの日2012(t v k収穫祭も同時開催)」

6月2日(土) 11時～17時、

3日(日) 10時～16時

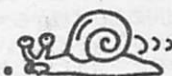
場所：関内駅から港に向かう、日本大通りと県庁前
と象の鼻パーク(パシフィックエコサービス出展)にて、
地球環境イベントが開催されます。

藤沢エコネットから

学習会 脱原発国民投票について

6月9日(土) 14:00～

市民活動推進センターにて



海の放射能汚染と魚介類

講師 川崎健(東北大学名誉教授)

6月24日(日) 14:00 市民会館教養室

共催：湘南学習会・鎌倉逗子学習会

ふくしまっ子 in 湘南

夏休み、福島の子もたちを湘南に招き、自由に遊
んで楽しんでもらいたいので企画しました

賛同できる方は人・物・金のご協力を!

日時 7月22日(日)～25日(水)

お手伝いできる方を募集しています。

相談会にご出席下さい

事務局会議

6月15日(金) 18:30～ 推進センターにて

新年度、会費・購読料の納入お願い致します

ゆうちょ銀行(9900) 店番(029)

当座預金 0046501 77 サコネット

(従来の振込方法も利用できます)

会員募集＝年会費・購読料→3000円



《編集後記》皆既日蝕がうす日の間からのぞき、世紀
の天体ショーがあった5月22日、買い遅れて売り切
れの観測めがね無しで一瞬ではあったがあのリングを
見ることができた。同日、東京スカイツリーの営業開
始と日蝕にテレビ報道は集中した。その後、1年以上
たつてやっと報道された福島第1原発4号炉の爆風で
無残な姿が公開された。1535本の使用済み核燃料がプ
ールにあること自体が問題だ。重さに耐えられるもの
の心配であったが、まだまだ警戒が必要な様子だ。原
発は国民の意思で決めようと動き出している。(H)